



学会・研究会・講演会
などのお知らせ

第33回母乳育児学習会 〈in 千葉〉

日時：1月13日(日)10:45-16:45
会場：千葉市民会館(千葉市中央区)
内容：「たばこをやめられない母親への母乳育児支援」大山牧子(新生児科医, IBCLC)／「乳腺炎の原因と診断・治療・予防協働の重要性」涌谷 桐子(産婦人科医, IBCLC), 「生殖補助医療と母乳育児」桑間直志(産婦人科医, IBCLC), 「黄疸」中村和恵(新生児科医, IBCLC)
対象：母乳育児を援助する専門家(助産師, 看護師, 保健師, 医師, 歯科医師, パースエデュケーター)ほか

申し込み方法：下記 JALC ホームページより申し込み

参加費

【当日参加】1万3000円

【学生】3000円

問い合わせ先：JALC 第33回母乳育児学習会運営事務局
 〒604-8162 京都府京都市中京区烏丸通六角下る七観音町634 コンベンションリンケージ内

☎ 075-231-6357 FAX 075-231-6354

✉ jalc33@secretariat.net.jp

URL <http://jalc-net.jp/>

精神障害者の 在宅看護セミナー

日程：2月9日(土), 10日(日), 11日(月・祝), 16日(土)・17日(日)

会場

【2/9~11】東京工科大学(東京都大田区)

【2/16・17】JNA ホール(東京都渋谷区)

プログラム

【2月9日】

「精神保健の現状と動向」厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課担当官／「精神科訪問看護基本療養費について」佐藤美穂子(日本訪問看護財団)／「精神科訪問看護の基礎」萱間真美(聖路加看護大学看護学部看護学科)

【2月10日】

「精神障害者の訪問看護の動向・最新知識と制度活用」仲野栄(日本精神科看護技術協会)／「訪問看護におけるメンタルヘルスケア」野末聖香(慶應義塾大学看護医療学部)

【2月11日】

「精神障害者の各種療法」野中猛(日本福祉大学)／「精神障害者の病態・精神障害者の薬物療法と最新治療法」西尾雅明(東北福祉大学総合福祉学部)

【2月16日】

「精神障害者の家族及び介護者等への支援」田上美千佳(東京都医学総合研究所精神行動医学分野)／「精神訪問看護の実践(1)」寺田悦子(多摩在宅支援センター)円)

【2月17日】

「精神障害者への集団療法と精神科リハビリテーション」福山敦子(ACT-K ねこのて訪問看護ステーション)／「精神訪問看護の実践(2)」金井竹子(ケアポートカナイ訪問看護ステーション)

対象者：精神科訪問看護に従事する者

受講料

【会員】5日間3万円, 1日のみ各7000円

【非会員】5日間6万円, 1日のみ各1万7000円

申し込み・問い合わせ先：日本訪問看護財団

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル5階

☎ 03-5778-7005 FAX 03-5778-7009

日本ヒューマン・ケア 心理学会 学術集会第15回大会

日程：7月6日(土)・7日(日)

場所：聖路加看護大学アリス C. セントジョンメモリアルホール

プログラム

【7月6日】

会長講演「死別後もつづく絆：天使の保護者ルカの会の活動から」堀内成子(聖路加看護大学母性看護・助産学)／教育講演「Continuing Bonds in Bereavement: An Attachment Theory based perspective」Nigel P. Field(Pacific Graduate school of Psychology)／特別講演「愛しい人を失うとき」細谷亮太(聖路加国際病院)

【7月7日】

研修会「エスノグラフィー：データ収集および分析方法の実際」麻原さよみ(聖路加看護大学地域看護学)

対象者：日本ヒューマン・ケア心理学会会員および非会員

参加予定者：約300名

問い合わせ先：大会広報担当 長松康子

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1 聖路加看護大学

FAX 03-6226-6374

✉ jhc15@slcn.ac.jp

日本小児看護学会 第23回学術集会演題募集

日程：7月13日(土)・14日(日)

会場：高知市文化プラザからばーと
テーマ：子どもと家族の力を支える倫理的判断にもとづく小児看護の創造

プログラム

会長講演「子どもと家族の力を支える小児看護をめざして—子どもの権利と家族の権利を擁護する(仮)」中野綾美(高知県立大学看護学部)／特別講演「医療の中で命と向き合いながら考える—子どもの最善の利益」玉井真理子(信州大学医学部保健学

科)／教育講演「小児看護を創る－子どもが子どもらしく生きることができる社会づくり(仮)」片田範子(兵庫県立大学看護学部)／シンポジウム「子どもがその子らしく生活するためのチームアプローチの創造(仮)」／テーマセッションⅠ「小児慢性疾患を持つ子どもの学校・家庭・地域との連携－小児糖尿病を理解してもらうための取り組み(仮)」／テーマセッションⅡ「事例検討を通して子どもと家族の力を支える看護の共有」／テーマセッションⅢ「家族エンパワメントの視点から子どもと家族の力を支える実践知(仮)」／テーマセッションⅣ「子ども虐待における看護師の役割と活動成果－小児救急認定看護師の活動を通して(仮)」／テーマセッションⅤ「在宅ケア(仮)」／テーマセッションⅥ「子どもと家族の力を支える外来看護の可能性－外来で看護師が子どもや家族のためにできること(仮)」／テーマセッションⅦ「退院した医療的ケアの必要な子どもは学校でどのように過ごしているの?」／テーマセッションⅧ「プレパレーションを行った子どもの反応

を看護師はどのようにみているのか、ケースをとおして考えてみよう」／テーマセッションⅨ「投稿論文ははじめの一步 パート2(仮)」／テーマセッションⅩ「子どもの臓器移植に関して(仮)」／テーマセッションⅪ「診療報酬に関するテーマセッション(仮)」／一般演題(口演・示説)ナースングサイエンスカフェ／懇親会／総会

演題募集期間：1月8日(火)～2月18日(月)

参加費

【会員】事前9000円、当日1万1000円

【非会員】事前1万円、当日1万2000円

【学生】3000円

問い合わせ先：日本小児看護学会第23回学術集会事務局

〒781-8515 高知県高知市池2751-1 高知県立大学看護学部

☎ 088-882-0333 FAX 088-882-0322

✉ jschn23@cc.u-kochi.ac.jp

URL <http://www.jschn23.com>

第16回日本地域看護学会学術集会演題募集

日程：8月3日(土)・4日(日)

会場：ホテルクレメント徳島(徳島県徳島市)

プログラム：会長講演／理事会セミナー／シンポジウム／教育講演／示説発表、ワークショップ、市民公開ポスター、市民公開シンポジウム

演題募集期間：1月7日(月)～2月28日(木)

参加費

【～6/28】会員9000円、非会員1万円

【当日】会員1万円、非会員1万1000円

大学院生を除く学生2000円

【以下共通】

申し込み方法：オンライン登録

申し込み・問い合わせ先：事務局

〒770-8509 徳島県徳島市蔵本町3-18-15 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部地域看護学分野

☎ FAX 088-633-9033

✉ tokushimachiiki@gmail.com

URL <http://jachn.umin.jp/meeting/m16/gre.html>